南洲墓地

【所　在　地】鹿児島市上竜尾町 2
【種　　別】県指定史跡
【指定年月日】昭和 30 年１月 14 日

↑西郷隆盛の墓（中央）

もと，時宗寺院の浄光明寺の寺域にある南洲墓地は，西南戦争で戦死した西郷隆盛（南洲）以下の薩軍将兵の合葬の墓地である。明治 10（1877）年９月 24 日，戦争が終るや，政府軍は，西郷以下 40 名の死体を検死の上，ここの境内（現在の鳥居付近）に仮埋葬した。その後，明治 12（1879）年，有志の者が鹿児島市内外に仮埋葬されていた 220 余名の遺骨を収容し，知事の許可を得て，西郷以下の仮埋葬遺体と共に現在の位置に整然と改葬し，あわせて参拝所を建てた。ついで明治 16（1883）年，各地に散在していた戦死者の遺骨を収集し，現在，墓碑数 748 基，2023 柱が葬られている。これらの中には，14 才の少年や５人兄弟，遠く庄内藩士の墓などがある。

ここに設けられた参拝所は，大正２（1913）年に南洲祠堂となり，大正 11（1922）年に南洲神社となった。現在，この辺一帯は，明治百年記念事業として公園化され，昭和 53（1978）年には西郷南洲顕彰館が建てられた。